

黒部市議会第2次総合振興計画検討特別委員会での意見・提言

資料2

前期基本計画中間報告(案)について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
①	3-3 市街地・住宅の整備	公営住宅の整備推進について、具体的にどこの公営住宅か。長寿命化とはどうするのか。長屋の公営住宅についてはどう考えているか。	現在の市営住宅は計画的に整備していく。新規というものではない。長寿命化は計画的に維持修繕していくことで、雨漏りしてからではなく、前もって計画的に整備していくことで住宅をより長く持たせると言う意味である。長屋住宅については最終的になくす方向で検討しています。
②	4-3 高齢者福祉の充実	互助とはどういう意味か、互助と共助の違いは何か。	公助はいわゆる扶助、公的扶助として困難者を支えるもの。共助というわかりやすくいうと、社会保険制度とお互いに費用等を出し合って制度の中で助け合うもの。互助はお互い、身近な場所でのお互い人と人との助け合い精神のもとで行うもの。自助は少しでも健康な状態を維持するよう自ら努めることです。
③		自助、共助、互助、公助ということだが、我々も今までは自助、共助、公助の3つで話をしていた。実は共助は隣近所のことだった。今では違うのか。新しい言い方だ。	
④	5-4 生涯学習の推進	図書館をコアとした市民交流センターはどのような扱いとなっているのか。	5-4生涯学習の推進の現況と課題に、地区公民館との生涯学習施設の整備について、計画的に進めていく必要がある他、現在生涯学習活動の拠点となる(仮称)くろべ市民交流センターの建設に向けた計画を進めていると言った現況を整理した上で、事業メニューの生涯学習拠点整備事業の赤のひし形がついている生涯学習施設の整備促進の中に入ってくるものになります。
⑤		大きな事業なので、もう少し丁寧にわかりやすく書くことを検討してほしい。	図書館をコアとして交流センターということで、(仮称)くろべ市民交流センターの建設ということと生涯学習施設の整備促進と書いているが、今ほどのご意見もうかがって、市民に分かりやすい表現にもう少し修正したいと思います。 ⇒現況と課題を修正